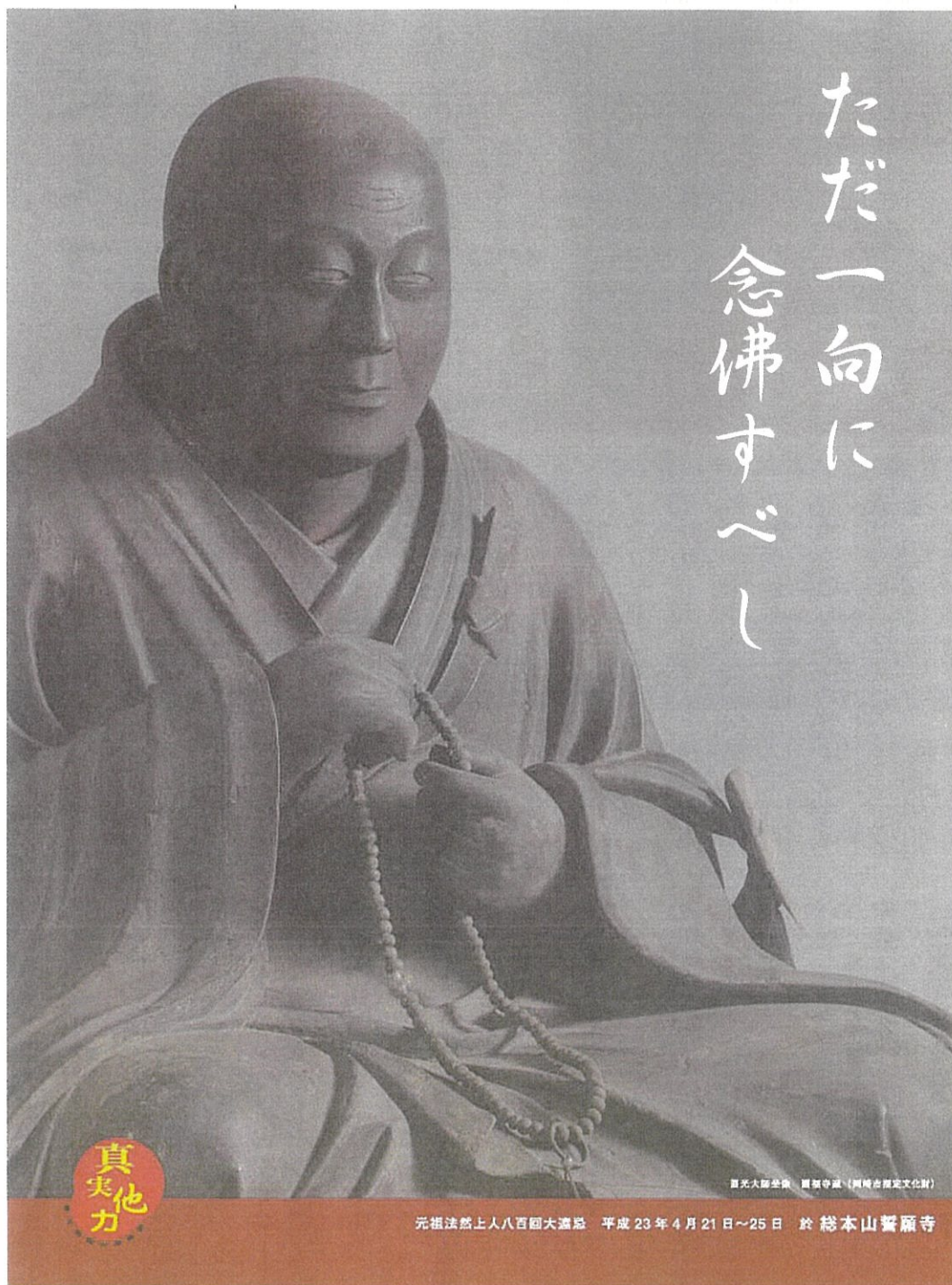


ちかいく

2007
正月号 VOL.118
浄土宗西山深草派宗務所
総本山 誓願寺



ただ一向に
念佛すべし

真他
実力

圓光大師坐像 圓覺寺蔵（岡崎古蹟文化財）

元祖法然上人八百回大遠忌 平成 23 年 4 月 21 日～25 日 於 総本山誓願寺

◆ 目次 ◆

- 新春を迎えて
- 誓願寺縁起物語（第九話）
- まんだら絵解き 22
- 慈光（第五回）
- インド **ドタ** **ドタ** 夫婦道中記 ⑫
- 読者のひろば
- 何でも“お寺探偵団” Vol.16 西方寺

◆ 元祖法然上人八百回大遠忌のポスター① ◆



新春を迎えて

浄土宗西山深草派管長
総本山誓願寺 法主 井ノ口 泰淳

只一向に
念佛すべし

総本山誓願寺
彰空

新年明けましておめでとう
ございます。

皆様方御機嫌よろしうお揃
いにて新春をお迎えのことと
心よりお慶び申し上げます。

度々申して居りますように
来たる平成二十三年は元祖法
然上人の八百回大遠忌に正当
します。わが宗派においても
その準備の計画も着々と進捗
しつつあり、私もこの遇いが
たき法縁にめぐり遇いうるよ
う日夜念願して居ります。

この大遠忌の準備の発足に
当たり、宗派では二種類のポ
スターを作成し、当派の各寺
院その他各所に掲示して八百
回大遠忌のお待ち受けの趣旨
を広く知っていただくよう配
慮して居ります。二種類の内、
一枚は兆殿司筆「円光大師涅槃
図」(室町時代の作品)を、
他の一枚は「円光大師坐像」
(作者不明、室町期の作か)
を图示して居ります。この木

像は当派内に伝承される法然上
人像中最も古く、由緒正しい御
像であります。

そして、このポスターには標
語として「ただ一向に念佛すべし」
との法然上人の御法語が掲げら
れて居ります。このお言葉は前
にも申しました(「ちかい」一
一五号平成一八年新年号)「一
枚起請文」の結びの文であります。
ただひたすらにお念佛するこ
ろに阿弥陀佛のお救いがある
との意味に理解して居ります。

どうか、この御法語をお味わ
いいただき専修念佛の教えを日々
お喜びいただきたいと願って居
ります。

平成十九年 新春

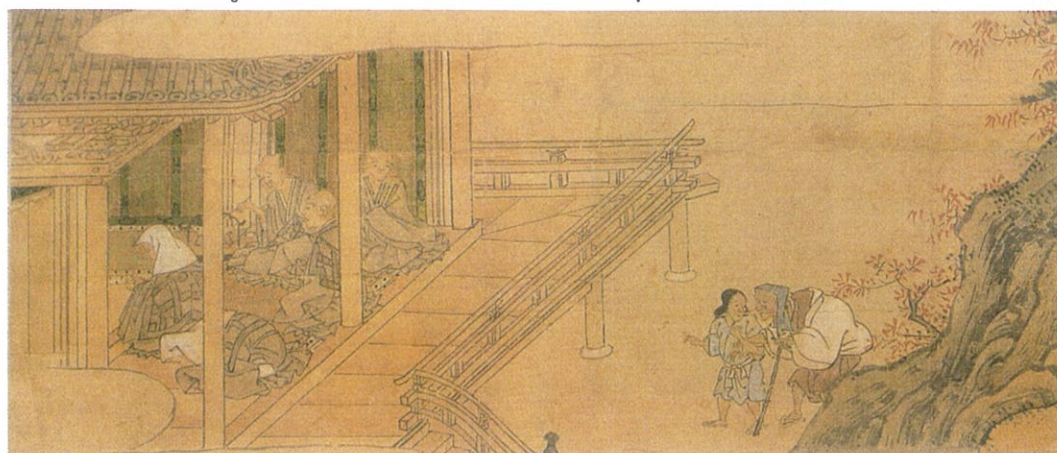
総本山誓願寺 第二百二世

彰空泰淳 識

※井ノ口法主御染筆の色紙を抽
選で1名の方に差し上げます。
詳しくは7ページをご覧ください。

和泉式部の往生

和泉式部は誓願寺へ辿り着きました。そして誓願寺に四十八日の間こもり、一日中ひたすら念仏を称え往生を願いました。人の声も静まったある夜のこと。式部は、蠟燭の火に照らされ、まどろんでいました。すると突然、七十歳程の老尼が仏壇に現れ、仏壇より降りて来て式部の横に立ちました。老尼は「往生は、阿弥陀さまにすべてをおまかせすればいいのです。南無阿弥陀仏と称えれば、慈悲の光に照らされ迷いの道が晴れるのです。女性の往生は、韋提希夫



「誓願寺にこもる和泉式部」

誓願寺縁起物語

【第九話】小島 英裕

人が目の当たりに来迎を拝まれたことで証明されました。疑いありません」と告げました。式部が歓喜の涙を流していると、

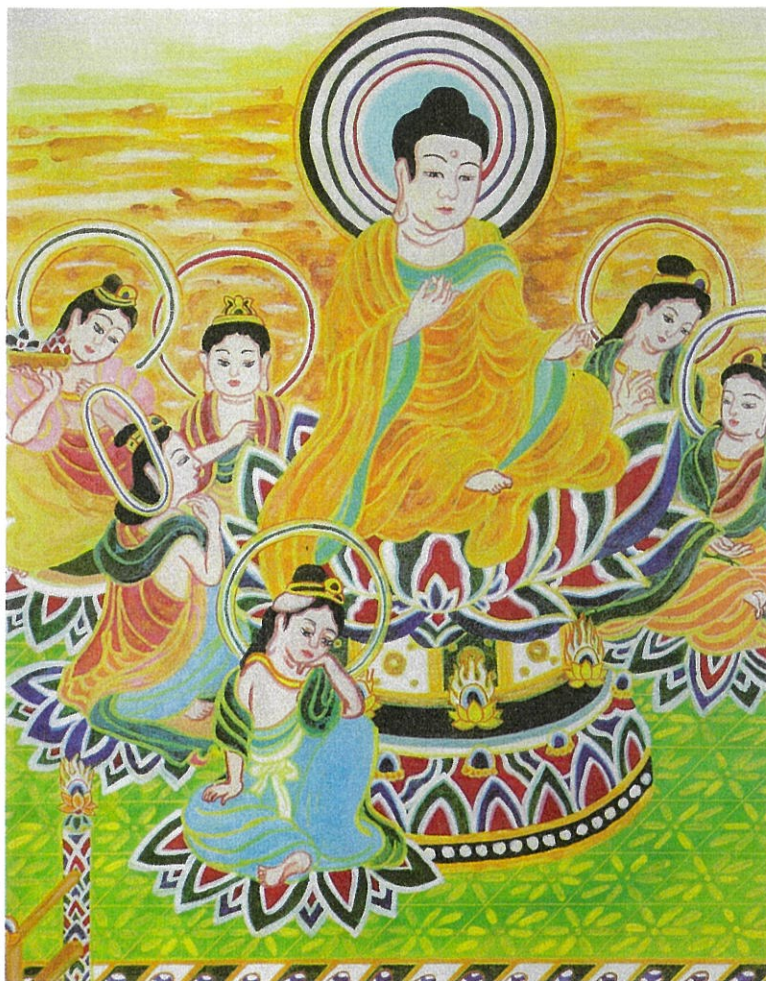
阿弥陀仏と

いふより外は津の国の
難波のことも
あしかりぬべし

「この歌を肝に銘じ、疑うことなくひたすら我を頼めば、仏の来迎は称名の声に応じ現れる」とのお告げを聞いて夢から覚めました。こうして和泉式部は、髪を切り尼になりました。法名は専意と名付けられ、誓願寺の傍らに柴の庵を結びました。この庵

は小御堂と呼ばれ、関白藤原道長が、娘の上東門院に仕えていた和泉式部のために一庵を与えたのが起こりといわれています。式部は常に庵にこもり、朝夕に本尊阿弥陀さまに詣で、それ以外の外出は控えられました。式部の臨終が近くなりました。空には紫雲がたなびき、音楽が聞こえ、香の薫りが漂いました。仏さまの来迎にあずかり、西に向い端座合掌し、念仏の声を絶やしませんでした。長和三年（一〇一四）三月二十一日、往生の素懷を遂げました。

(つづく)



玄義分「如意輪觀音（見取図39）」



ちわい (4)

極楽のようす ⑥

「如意輪観音さま」

極樂では、多くの菩薩さまを伴つた阿弥陀さまが、あらこちらに赴かれて説法されていきます。その菩薩さまたちも、それぞれに役割をもつて私たちを身守つてくださ

います。

中でも、一番手前に、頭のハ
ゲかかつた菩薩さまがいらつ
しゃいます。これが如意輪觀
音さまです。

この菩薩さまは、片膝を立て
ほづえ
て頰杖ほづえをついていらつしやい
ます。これは「思惟しゆいの印」とい
つて、考えごとをしているお
姿です。いったい何を考えて
おられるのかというと、様々
な苦しみを背負う私たちをど
うやって救おうかということ
です。

観音さまは、縁のある者もない者も、全ての人を平等に救おうとなさいます。ですから、苦しんでいる人を見ると何より悲しまれます。そして私たちに代わって、その苦しみを引き受けることを、自らの最上の喜びとされるのです。

しかし、仏教に縁のない人は、

観音さまの救いを知らず、苦しみの海に沈んでいきます。如意輪観音さまは、これを悲しみ、どうかして縁を結ばせようと苦心されます。そのために大層悩まれ、世間の人と同じように、髪の毛が抜け落ちてしまわれたのです。．．．なんと尊いお姿でしょう！

私たちに、わずかでも「阿弥陀さまを信じてお念仏を申し上げよう」という心が起こるのは、ひとえに、このような如意輪観音さまの深い深いお慈悲のおかげだということを、心に留めておきたいものです。

◆ 当麻まんだら見取図 ◆									
11								12	定 善 義
10								13	
9								14	
8								15	
7								16	
6								17	
5								18	
4	39	35	37					19	
3			36					20	
2								21	
1	38		34					22	
33	32	31	30	29		28	27	26	25

散 善 義

定善義

散 善 義

慈光 5



「慈光」。万物を育成し世に恵みを与える光。大慈悲の光明。阿弥陀さまの分け隔てのない暖かい優しい光。私たちはこの光を頂き、生かさせていただいております。慈光に照らされた私たちの生活を今一度考えてはどうでしょうか？鈴木皓道先生のお寺岡崎市本宿町「慈光院」より拝しました。

【睦月（一月の月）】

年前に、ある家の月並み

剩え、うどんは熱い湯

古い日本の言葉に、一月

供養の日と約束し、その

付きで、とろろを余り食

を睦月（むつき）と呼んで

折は昼の食事を家族と共

べなかった若い母親、子

います。これは、年の初め

に頂くのです。娘の一家、

どもまでが、共に頂きます。

に嫁いだ娘の一家が揃っ

息子の一家が集まり、多

何と、睦まじい家庭でし

て実家を訪れ、年老いた両

いときには十九人位、少

よう。

親、兄弟が集まって睦まじ

ない時でも九人位です。

加えて、佛さまへのお

く話し合う一刻を指し、更

食事の前に揃って佛さ

参りを揃ってすましてか

に春を期待する様子を文

まにお参りし、終ると「待

ら食事をするのは和合の

字に現れていると思います。

っていた」とばかりに、食

姿です。

若し、そうだとすれば何と

べては話し、話しては食

「同じく和合海に入る」

人間愛に溢れた言葉でし

べるのです。その賑やかで、

善導さまの教えです。家

よう。

楽しいこと。子ども達が

族くらいは諍いすること

「その月の第三日曜日」

「明日はお寺さんが来るね。」

なく睦まじい日暮しをし

私の心が思わず明るくな

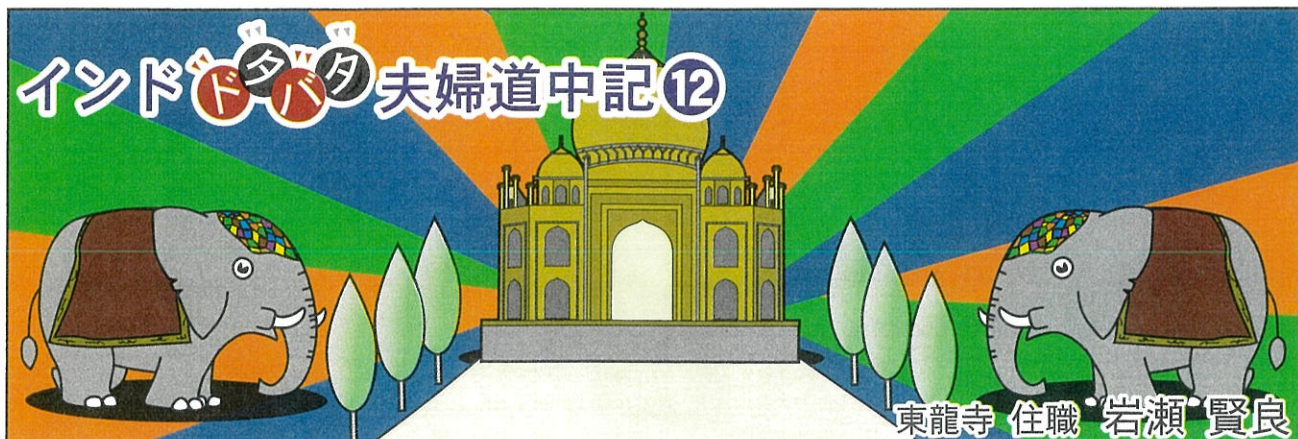
と祖母に尋ね、私を待つ

たいものです。

る日です。今から約二十五

ていてくれるのです。

布教講習所 所長
慈光院 住職 鈴木 皓道



タージ・マハルとアグラー城

二度の荷物検査にウンザリした僕たちは、気を取り直し正門を入り真っ直ぐ正面を向くと、きれいに整えられた庭園の向こう三〇〇メートル程に白く輝く大理石の廟びよう（お墓）が、真つ青な空を背景にズッシリと浮き出て建っている。また廟の正面には長く浅い池があり、水面には廟が対照的に逆さまに映し出されているのが幻想的で美しい。

入るのに時間を費やしたお陰で、中でノンビリとはできず、ただ博物館や美術館の様に展示品がある訳ではなかった。運転手との約束の時間より少し遅れただけで、車から降りた場所に戻った。昼を過ぎていたので、一度ホテルに戻り広い中庭の隅で昼食を摂りながら、運転手も同席していたので午後のスケジュールを決めた。

結構ノンビリした後、先ず銀行に寄り、一〇〇ドルのトラヴェラーズ・

チェック（旅行者用小切手）を四、六六〇ルピー（約一一、六五〇円）に換えてもらった後、僕たちはアグラー城に向かった。

赤レンガの城壁に囲まれた周りを水の殆ど無い濠ほりが城を囲み、橋を渡ると唯一出入りできる南門がある。そこで入場料を払うのだが、今度は大した荷物検査はなかったし、もうタージ・マハルで、出す物は出してしまっているから気にする必要もなかった。ここの入場料は外国人は五ドルと、それにプラス五〇ルピーとなっていた。多分プラス五〇ルピーというのは、設定当時よりレートが変動してドル高の分を調整する為にルピーを上乗せしているのでは、と僕は思った。それでもタージ・マハルに比べれば三分の一ほどの料金である。

アグラー城はタージ・マハルを建てたシャー・ジャハーン皇帝より二代前のアクバル帝が一五六五年に

建てた城であるが、シャー・ジャハーンの多くの皇子たちの継承争いが起き、その一人アウラングゼーブが兄弟を殺し、父をこの城に幽閉し王位に就いたのである。シャー・ジャハーンは幽閉されながらも、ヤマナー川に沿って建つお城から東に二キロメートル程下流沿いにそびえる、若くして亡くなった愛妃ムムターズ・マハルが眠るタージ・マハルをいつも見ていられたのが、せめてもの救いだったのであろう。

一通りお城の中をゆつくりと見て回った後は、運転手にお任せの土産物のお店巡りとなった。



アグラー城からタージ・マハルを望む

読者のひろば



今回は、
碧南市 磯貝よし子さん
京都市 久世啓子さん他
ご質問にお答えいたします。

あるお店で造花で作られた仏花・お墓用の花が売られていました。夏は花持ちが悪くすぐ枯れるため、造花をお供えするのはどうなのでしょう。やはり生花の方が良いのでしょうか。また、仏花は午前中に取り替えてあげるのが良いですか。

A ご質問のように仏壇などにお供えをするとき、果たしてこんなやり方ではないのかと悩むことがあります。

こんなやり方では仏さまに失礼になるのではないかと、何かと手抜きをしているようで、仏さまを粗末に扱うことになるのではないかなどと色々心配し不安になってしまっている方もありますね。

まず、一番大切なことは何でしょうか？

それは、仏さま・ご先祖さまを心からご供養する気持ちです。皆さんが、お友達やご家族にプレゼントを贈るとき、何を一番に考えますか？ きつと、相手のことですね。高価な贈り物ほど良いというわけではないでしょう。

品物の価値や贈るタイミングが問題ではなく、相手のことを思って自分が出来る範囲の最高のプレゼントを用意するものです。

仏さま・ご先祖さまに対してと同じです。

物事の善し悪しを判断することは、実はとても難しい事です。が、流祖西山上人(せいざんしょうにん)は、「徒(いたずら)に機(き)の善悪を論じて仏の強縁(こうえん)をわすれることなかれ。」とおっしゃいました。

仏さまと私たちの間には、深い深い縁で結ばれていて、あなたの仏さまを想う気持ちは、あなたがどうしたら良いか？と悩む時点で痛いほど仏さま、ご先祖さまに、必ずその心は伝わっています。

ですから、自分の想うお供え方をし、仏さま・ご先祖さまを敬い、心からご供養することが大切ではないでしょうか。(ちかい編集部)

法話を聞いてみませんか

「布教師会ホームページ」より「法話」を聞くことが出来ます。本派布教師を目指す「布教講習所」の生徒さん達の法話も聞けるようになりました。是非お聞き下さい。

■浄土宗西山深草派 布教師会ホームページ

<http://www.fukakusa-fukyou.net/>

クイズコーナー

【問題】

「彩色彫刻板曼陀羅」を安置してある西方寺さまは、別名をなんと呼ばれ親しまれているでしょう？

〇〇〇〇寺 (ひらがな四字)

官製ハガキに答えと、郵便番号、住所、氏名、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いて送ってください。

今回は管長猊下御染筆の色紙を一名、西方寺さまより「ゼンマイ式の七宝時計」を一名、本山謹製線香を五名の方に、合計七名に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒444-3523

岡崎市藤川町字中町南十五番地
稱名寺内 ちかい編集係

答え 〇〇〇〇

住所 氏名
菩提寺(だんな寺)
感想・質問等

【締切】

一月三十日
(消印有効)

ちかい

第118号

発行日
発行所

平成十九年一月一日
浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五番地
電話 (〇七五) 二二二〇九五八
FAX (〇七五) 二二二〇一九
E-mail seiganji@skyblue.ocn.ne.jp

何でもお寺探偵団 西方寺

Vol. 16

今回は、愛知県幸田町の山間にある「紫雲山 浄影院 西方寺」を訪ねました。

プロフィール紹介

中村 潤翁 師 (西方寺 第24世住職)

59歳。住職歴は40年近くになる。お寺の法務と会社勤務を両立しながら、岡崎市善光寺の住職も兼ね、人権擁護委員も務める。趣味は古時計の修理や製作。



Q1 お寺の由来を教えてください。

宝徳元年(1449)京都圓福寺で修行された教然良頼上人が、当時、坂崎郷東谷と呼ばれた山間に紫雲たなびくを見て「古仏の霊場なり」と感じ、弟子たちと共に未開だった竹やぶを切り開き、この地を開章と名づけて西方寺を建立されました。

この由来から、お寺の後ろに聳える山を「紫雲山」と呼んでおり、当寺の山号にもなっています。

良頼上人は、幼名を徳丸といい、徳川家先祖の松平氏3代信光公の従弟にあたります。寛正5年(1464)に亡くなっていますが、晩年、信光公の帰依により、寛正2年(1461)岩津(現、岡崎市北部の圓福寺の地)に妙心寺を創建されました。他にも、応永年間(1394~1427)に上和田(現、岡崎市南部)に浄珠院を再興、永享年間(1429~1440)には津平(現、吉良町)に清海寺を建立されています。



◀ 山門前全景

【交通】

【電車】 JR「幸田」駅より車で15分
名鉄「美合」駅より車で15分

【主な行事】

- 地藏会 4月第3日曜日
- 施餓鬼会 9月第1日曜日
- 薬師会 11月第2日曜日

【問い合わせ】 西方寺

〒444-0102 愛知県額田郡幸田町久保田字下田23
TEL (0564) 62-4997 FAX (0564) 62-5143
E-mail: saicho-j@sk2.aitai.ne.jp

Q2 お寺の宝物は何ですか？

板に彫刻した「彩色彫刻当麻曼陀羅」を本堂脇壇に安置しております。この曼陀羅は、当寺の復興に尽力された16代龍空蟠海上人が、寛政8年(1796)に造立されたものです。絵画の当麻曼陀羅は全国に数多く残っていますが、彫刻されたものというのは大変珍しいそうです。普段は厨子の扉を閉じておりますので、彩色もとても綺麗に残っております。

また、ご本尊阿弥陀如来はおそらく当寺開創の際に教然上人によって安置されたもので、鎌倉初期の作と見られます。幸田町の指定文化財になっており、これも蟠海上人によって修理が施されています。

Q3 「ちかい」読者に一言

趣味で古い柱時計の収集と修理をしております。またゼンマイ式ふくろう掛時計を製作しており、同好の士からは「福老寺(ふくろう寺)」と呼ばれております。

読者の皆さんのお宅で、古い柱時計が眠ってはいませんか？無料で修理させていただきますので、遠慮なくご連絡ください。ポンポン時計が忘れかけた日々を蘇らせてくれることと思います。

なお、当寺は交通の便が大変悪いので、ご来寺にはお車をご利用ください。

Q4 「ちかい」読者に何かいただけませんか？

ゼンマイ式の七宝装飾枕時計を1名様に差し上げます。

「古時計を触っている時間が、なによりも楽しい」という中村住職。古時計の修復に関しては、本職以上の技術をお持ちで、お手製の「ふくろう掛時計」の出来も見事なものです。他にも、お寺の看板や庭の水車など、なんでも手作りされる器用さには感服いたしました。

竹が生い茂る古寺のたたずまいと、古時計が静かに時を刻む音が印象的なお寺でした。



◀ 板曼陀羅



▲ 手作りふくろう時計とご住職 ▲ たくさんの古時計